

私たち東京ヤクルトは、乳酸菌飲料や化粧品をとおして地域の皆さまに健康と美しさの喜びをお届けすること、地域に深く根を下ろし、人の和を大切に真心と感謝を込めて地域社会へ貢献することを使命として、地域の皆さまから愛される会社でありたいと考えています。

活動期間：2025年4月1日～2026年3月31日

地域との共生レポート 2025

数字でみる東京ヤクルト(2025年度)

学校への 地域への 出前授業・健康教室

実施回数 **317回** 参加人数 **15,104人**

腸を丈夫にすることが健康につながるという「健腸長寿」の考えを基本として、腸内環境を整える大切さと乳酸菌のはたらきについてご紹介する出前授業・健康教室を行っています。
(一社)日本食育学会「食育推進企業・団体」に継続認定されているプログラムです。



地域の見守り・防犯に関する協定

締結先 **2都県43区市町村**

東京都・埼玉県、担当エリア内43の区市町村と協定を締結しています。業務中に街や人の異変を感じたとき、認知症サポーターとして認定された約1,700名のヤクルトスタッフを中心に地域のゆるやかな見守り・防犯への協力を行っています。



地域の見守り・防犯の事例

発生件数 **10件**

ヤクルトの地域でのゆるやかな見守りは、あいさつやお客さまとの会話の中から生まれます。日々のコミュニケーションは、地域のゆるやかな見守りや緊急性が求められる事例への対応につながっています。

2025年3月度の豊島区見守り通信に対応事例が掲載されました。
人命救助を行った社員を表彰し、地域の安全・安心に寄与する行動を称えています。



豊島区見守り通信

保育園児童数(2025年3月末)

保育園数 **24園** 園児 **260人** (従業員116人・地域144人)

ヤクルトの保育園は、現在のように女性の社会進出が難しかった頃、ヤクルトスタッフのために設立され、子どもたちを支える場所としてスタートしました。その後、地域社会のニーズに応じて地域の子どもたちを受け入れる場所となりました。

「子ども主体の保育」と「とうきょう すくわくプログラム」を活用して、子どもたちの好奇心・探究心を引き出すプログラムを取り入れています。

認可園10園・認可外保育園14園

※とうきょうすくわくプログラム

東京都が実施する幼稚園や保育所を対象としたプログラムで、乳幼児の好奇心や探究心を育むことを目的としています。



Topics 2025 トピックス

2026年1月9日(金) 当社の本社所在地である台東区と包括連携協定を締結

相互に連携・協力することにより、地域の安全・安心な暮らしや区民の健康増進等の実現を図り、地域共生および区民サービスの向上に資することを目的としています。これまでも、ゆるやかな見守り、小学校での出前授業、地域での健康教室など行ってきましたが、今後は協定に基づき活動分野を広げていきます。

● 協定の内容

- ① 地域の見守りに関すること
- ② 区民の健康づくりに関すること
- ③ 子ども・若者の健全な育成に関すること
- ④ スポーツの振興に関すること
- ⑤ 災害対策に関すること



協定書を手にする台東区・服部征夫区長と
当社社長・春日利文(当時)

東京ヤクルトスワローズ現役選手による野球教室

2025年11月15日(土) 台東リバーサイドスポーツセンター少年野球場(東京・台東区)で「東京ヤクルトスワローズ野球教室」を開催しました。東京ヤクルトスワローズから石川 雅規投手、長岡 秀樹内野手、松本 健吾投手の3名を講師として迎え、台東区少年野球連盟所属チームの小学5～6年生97名が参加しました。キャッチボールやランニングなど基本の指導から、グラブやバットを使った実践練習に移り、シートバッティングでは全員が打席で石川投手、松本投手の投球を実際に体感、直球のスピードや鋭く曲がる変化球に驚きの声を上げました。



長岡秀樹内野手の指導を受ける子どもたち

台東区主催「たいとうクリーンアップ作戦!」に参加

台東区が主催する清掃イベントに参加しました。このイベントは区民に加え区内の企業・団体などから毎回100名を超える参加者があります。当社は、同区による「大江戸清掃隊」の認定を受け、月2回事業所周辺の清掃活動を継続しており、活動が10年を迎えた2024年に「まちの美化里親」に認定され、その証として社名の入った法被をいただきました。今後も地域の街の美化に取り組んでいきます。

● 取り組み内容

- ① 全事業所で毎月2回 クリーン活動の実施
- ② 台東区ごみゼロキャンペーン参加(2025年度3回参加)



社名の入ったおそろいの法被で参加しました。

社会貢献強化月間の実施

「国の宝である子どもたちに何か支援できないか」という思いを具現化するために、児童養護施設やこども食堂を支援する取り組みを行っています。10月から12月を「社会貢献強化月間」と位置づけ売上金の一部を寄附したほか、クリスマスシーズンには、メッセージカードとともにヤクルト商品をお届けしました。また、「働きやすい職場づくり」の事例をポイント化し、算出した金額をこども食堂に寄附しました。



社員からメッセージを募り、
クリスマスカードにしました。

2025年11月1日(土) 東京都健康長寿医療センターと 「認知症共生社会構築に向けた産学連携協定」を締結

締結のきっかけは、板橋区主催の官民連携による「認知症フレンドリー協議会」で、当社は、板橋区との地域見守り協定締結に加え、同協議会にも参加しています。同医療センターもメンバーとなっており連携を深めました。7月には板橋区を含む3者で、認知症と思われるお客さまへの対応の実例について、ヤクルトスタッフを交えて座談会も開催しました。

こうした活動の中で、同医療センター 研究所 自立促進と精神保健研究チーム副部長の岡村 毅医師は、「高齢社会が進み認知症の人が増えていく一方で、専門家や住民同士による見守りには限界があります。さまざまな企業が事業活動を通じゆるやかに地域を見守ることは重要性を増していくと思います」と話されています。

本協定により、今後は相互に協力し、ヤクルトスタッフが認知症と思われる方へ行っている配慮や行動に関する調査研究、お届け時の認知症に関連するトラブル対応マニュアル作成などに取り組む予定です。

当社は、認知症であってもだれもが安心して住み慣れた町で暮らし続けられるような、ヘルスケア社会の実現のため、同医療センターとの産学連携を進めていきます。

●7月に実施したヤクルトスタッフによる座談会のようす



東京都健康長寿医療センターの岡村毅医師



2グループに分かれてグループディスカッション



実体験をもとに、日頃の気配りや気づきについて語るヤクルトスタッフ



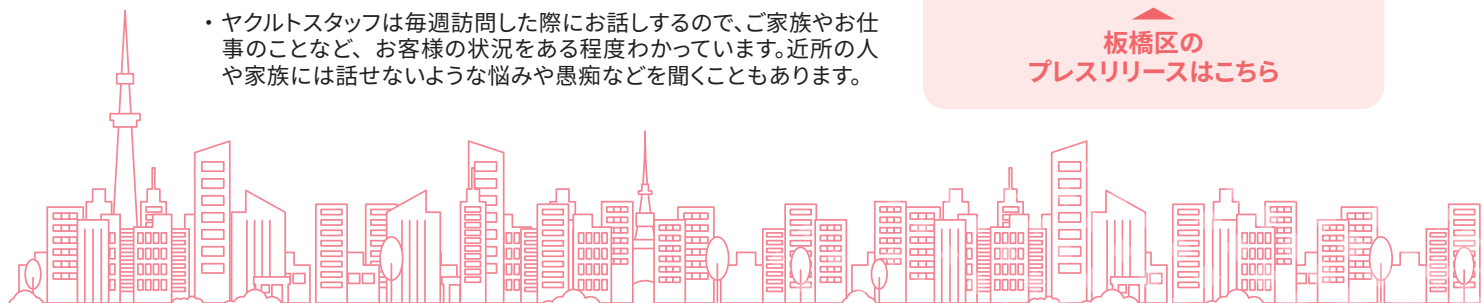
東京都健康長寿医療センター、板橋区、当社より集った参加者

●ヤクルトスタッフからの意見(座談会より)

- ・訪問販売の際に、迷子になっている高齢者から声をかけられることがあります。訪問の時間が決まっているので、ゆっくり対応することは難しいこともあります。なるべく寄り添うようにしています。
- ・携帯電話を持っていた方には、ご家族への連絡をお手伝いしましたが、つながらなかったため警察を呼んだことがありました。何も荷物を持っていない方から助けを求められた際は、本人の話をよく聞き、家の場所を思い出してもらえたことがありました。
- ・ヤクルトスタッフは毎週訪問した際にお話するので、ご家族やお仕事のことなど、お客様の状況はある程度わかっています。近所の人や家族には話せないような悩みや愚痴などを聞くこともあります。



板橋区の
プレスリリースはこちら



働きやすい職場環境づくり

東京ヤクルトで働く一人ひとりが、心身ともに健康でいきいきと活躍でき、ワークライフバランスを実現できるよう、職場環境の整備や制度の充実に取り組んでいます。



健康経営優良法人(大規模法人部門)

健康診断の受診率100%の維持や、メンタルヘルス対策の強化、職場でのコミュニケーションの促進、誰もが安心して働ける環境づくりなど、健康経営に関わるさまざまな取り組みを進めています。

2025年度大規模法人部門の認定を受けました。



えるぼし(3段階目)認定取得

女性管理職の登用など、女性活躍推進を積極的に行っています。今後も性別問わず、柔軟な働き方の実現と誰もが働きやすい環境づくりを促進します。



健康優良企業(銀の認定)

任意検診(婦人科がん検診や歯科検診)の受診促進や敷地内全面禁煙などを行って従業員の健康保持・増進に積極的に取り組んでいます。



ストレスフリーカンパニー2025認定取得

厚生労働省の定める「職業性ストレス簡易調査票」に基づき実施されたストレスチェックの結果をもとに、ストレスの少ない職場環境を実現している企業を毎年表彰する制度です。



● 社内部活動

健康増進や部門の垣根を越えたコミュニケーションの活性化を目的としています。ヨガ・フットサル・野球・ゴルフ・アウトドア・観劇・軽音楽



● 育休復職者向け座談会

育児休業からの復職者を集めて、座談会を実施しました。「仕事と育児を両立する大変さ」や「子育ての楽しさ」といった話題で盛り上がりました。



● マラソン大会等スポーツイベント参加

第12回上野恩賜公園早朝元気マラソン(2025年8月11日)に社員33名が参加し、全員が完走しました。

東京ヤクルト販売株式会社

会社名 東京ヤクルト販売株式会社
設立 1957年7月
資本金 3億円
従業員 1,123名(2026年3月末)
ヤクルトスタッフ 1,716名(2026年3月末)
保育園数 24園(認可10園、認可外14園)

所在地
本店 東京都台東区台東2-19-9
新木場事業所 東京都江東区新木場1-7-6
練馬事業所 東京都練馬区南田中2-23-12
調布事業所 東京都調布市国領町5-20-1
瑞穂事業所 東京都西多摩郡瑞穂町南平1-4-6



公式HP